

2024/02/27_令和5年度第2回真鶴町総合計画審議会 意見及び回答

No.	事業名・その他	意見内容	回答者	回答
1	道路整備事業 道路管理事業	高齢者がシニアカーで道路を走行しているのを見た事がある。免許返納後の行動手段として便利なものであるが、町内の長道、カーブが多く狭い道では不安がある。5年間真鶴で生活をして道路を使っているが、修理が必要と思われるところが手付かずで、痛みが酷くなっている所がある。生活に一番密接で、なくてはならない道路。自分の今後を考え自動車が使えなくなった時に、別の交通手段として、シニアカーを利用と考える。安心安全な生活のインフラの根幹でもある重要な道路について、維持・管理を実施されることを望む。	まちづくり課長	シニアカーについては、道路交通法上、歩行者として扱われます。車道を行くと交通の妨げとなりますので、歩道を走行していただくようになりますが、当町の町道においては、車道と歩道の区部されている町道は部分的になり、ほとんど歩道がありません。よって、シニアカーは、やむなく車道を守る際は右側通行をしていただくようになります。歩道確保においては用地確保を含め、様々な課題があると思います。また、ご意見にありますように、地形上の条件から、坂道、カーブ、道路幅員が狭い道などがあげられます。引き続き、安心・安全な町道への維持管理について努めて参ります。ご理解の程お願いいたします。
2	ナラ枯れ被害対策事業	道路へ木の枝や竹がのび、強風で枯れ枝が落下していることもあった。地主が切ることが難しいのであれば、何らかの手をうつことができないのかと思う。ナラ枯れ被害対策事業が利用できないか？	産業観光課長	本事業については、森林病虫害等防除事業費補助金を財源に、地域森林計画に位置付けられている民有林（国有林以外の森林）のうち、町有地のナラ枯れのみが対象となっています。
3	道路管理事業	海の美しさを売りにしている真鶴町だが、昔は海が見えた有料道路料金所から駅までの下り道路は、現在では海を見ることができず、枝や竹がのびている。	まちづくり課長	ご指摘の場所は、国道135号と思われますので、道路管理者（神奈川県）にご意見を連絡していきます。また、当該地以外においても、樹木の枝などによる道路の通行に支障が生じる場合は、土地所有者の方へ「適切な管理のお願い」の手紙を送付しております。
4	防災訓練事業	職員・自治会役員への訓練・研修などによる防災知識・技術の向上は是非やっていただきたい。 また、次のことについても検討をお願いしたい。 ①防災士資格取得支援、真鶴町防災リーダー養成 ②自治会未加入住民に対する活動参加促進	総務防災課長	さらなる防災知識・技術向上を図るため、今後も研修を検討しています。新採用職員研修、2年目の階層別指定研修で防災についての研修を行っています。防災士資格取得については今年度3名の受験を予定しています。
5	真鶴町避難行動要支援者事業	「令和5年度実施計画」のP3 避難行動支援事業に対する位置づけ、関連性は？ 避難行動支援事業が十分機能していなければ、当事業の成果が期待できないのではと危惧する。 両事業は防災対策に重要な事業である。当町に適した避難行動計画の策定・推進に期待している。	福祉課長	避難行動要支援者個別計画の策定については、国のモデル事業を通してR5年度に着手できたことから、町の防災計画にも同対策について必要な事項を位置付け改訂しています。防災計画と個別事業、防災担当課と個別事業担当課が連携して災害対策・防災対策を進めていきます。
6	海岸美化事業	町内外のボランティアなど多くの協力により長く続いてきた真鶴らしい事業。令和6年改定の県計画に合わせて当町の取組姿勢をアピールし、より効果的な活動の策定に係っていくことを期待する。 また、森林保全事業を加えしぜんを大切に維持管理するSDGs事業への取組姿勢をアピールすることで、当町の評価向上にも役立つのでは？	産業観光課長	森林保全事業については、松くい虫被害対策事業等、特にお林の保全に努めています。令和元年度には「お林保全方針」を定め、また平成27年度からはお林に親しんでいただくことも目的の一つとしボランティアを募りお林調査を実施し、お林の樹木のデータを蓄積しています。お林の保全に関しては、お林保全協議会の中で専門家の方の意見を伺いながら、今後は外来種の駆除等に着手していきます。
7	海岸美化事業	町内外のボランティアなど多くの協力により長く続いてきた真鶴らしい事業。令和7年改定の県計画に合わせて当町の取組姿勢をアピールし、より効果的な活動の策定に係っていくことを期待する。 また、森林保全事業を加えしぜんを大切に維持管理するSDGs事業への取組姿勢をアピールすることで、当町の評価向上にも役立つのでは？	税務町民課長	海岸美化活動については、ごみゼロキャンペーンの一環として、ビーチクリーンかながわの取組みで、岩海岸の清掃活動の実施や、町観光美化推協会主催により長年実施してきました三ツ石、番場浦海岸のクリーンキャンペーンを始め、各ボランティア団体による自主的な海岸清掃が行われてきました。今後も県計画に合せて当町の取組み状況等を広く内外に発信していきます。

2024/02/27_令和5年度第2回真鶴町総合計画審議会 意見及び回答

No.	事業名・その他	意見内容	回答者	回答
8	水道運営事業	<p>予てから見直し改善を指摘されていた事業。特に水道料金については水道料金審議会の答申にも提出されており、関連事業も含め水道事業全体として安定化・健全化に向けた見直しに早急・慎重に取り組んでほしい。</p> <p>関連する水道整備事業の財政状況の逼迫や水道設備維持管理の老朽化・修理費増加・有収率低下なども迅速・的確な判断・実施を期待している。</p>	上下水道課長	<p>水道運営事業における見直し改善が必要であることは承知しているところですが、設備の更新は財政状況により思うように進んでおりません。</p> <p>水道料金の改定につきましては、新町長となり体制が変わったことにより、施政方針でもお伝えしている水道料金体系の見直しをはじめ検討を始めています。この改定により財政状況の好転を目指し、設備更新等の計画的な実施を行っていきたいと考えております。</p>
9	公共下水道整備事業	<p>「面整備計画」については審議会でも目標達成への疑問や見直しを求める意見が出ており、令和6年度の中断はやむを得ない状況と思う。後期の面整備計画については、下水道関連事業全体の安定化と健全化に向けた見直し・改善計画を策定してほしい。</p> <p>説明や審議はできるだけ公開し、住民の合意形成の中で進められることが必要と思う。</p>	上下水道課長	<p>面整備事業は当面の間凍結し、既に供用開始された区域の接続率の向上に注力することにより経営の安定化と健全化を目指します。下水道の現計画は令和12年度までとなっており、施設維持の観点から計画自体は継続する必要があるのですが、令和13年度以降の計画は令和11年度までに整備区域の見直しを含めた排水に関するアンケートなどを行い時代に合った計画にしたいと考えております。</p>
10	ウクライナ難民支援事業	<p>時節的にも注目されそうな事業だが、事業の位置づけ、重要度がよくわからない。費用支援がメインのようなので、経費についてもう少しわかりやすい記述があると良いと思う。</p>	政策推進課長	<p>令和6年度、予算化はしていないため、今回は記述をしていません。</p> <p>ただし、以前より、費用支援だけでなく、支援を行っていた実績があり、引き続き、生活支援などの相談を受けながら、定期的に支援していく予定です。本人が特定されるということもあり、あまり具体的な内容をこちらからアピールする事業ではないと考えております。</p>
11	看護小規模多機能型居宅介護施設運営事業	<p>令和4年度事業評価や令和5年度実施計画の内容と大きく異なり違和感を覚える。また、令和6年度と令和5年度の取り組みが同一内容なのが更に違和感高まる。</p>	健康長寿課長	<p>各年度の評価と計画については、経営的な側面にとらわれた内容となっており、各年度の取り組み内容との整合性がなかったため今後見直しを行いたいです。</p> <p>各年度の取組内容については、公的機関が行う介護事業であることから、普遍的な指針として同内容を継続しています。</p> <p>現在、定員29名の事業に対し、町内高齢者平均25～27名の在宅医療・介護を継続する一翼として同建物の診療所と連携し、サービス展開できています。</p>
12	教育推進事業 子育て推進事業	<p>令和4年度現況評価が令和4年度事業評価と異なり、内容に疑義アリ。</p> <p>評価、事業の状況、担当者の欄に記述なし。</p> <p>令和5年度実施計画とほぼ同一内容であり、計画書として不適当</p>	教育課長 福祉課長	<p>教育推進事業は、地方創生事業を活用した令和4年度から3か年の継続事業で美術館、博物館、図書館及び公民館が「学びの場」となり「人と人をつなぐ場所」を創成するものです。半島の教育、文化、芸術拠点となることを目的としていることから、最終年（令和6年度）は過去2年の課題等を修正し、集大成として事業を実施していきます。令和7年度以降は、補助金等を使わず、事業の価値を継続し計画していきます。</p>
13	公有財産維持管理事業	<p>施設に関しては老朽化・修繕等に苦慮している記述が多い。</p> <p>健全な交友施設については中長期的に統廃合・改修など、総合的に維持管理する仕組みが必要と考える。</p>	財務課長	<p>町内の施設は老朽化に伴い、安全な利用、維持していくことにも多くの費用が見込まれる。施設の目的、活用状況を考慮し、その中で今後、施設の統合、廃止の方向性を見出していく。また町有施設の管理をまとめていき、効率的な管理を目指していきます。</p>
14	総合計画事業	<p>「総合計画と総合戦略の一体的策定」を令和6年度の取組に加筆したほうが良いのではないかと。</p> <p>令和6年度取組事業に基づいて該当事業の令和6年度取組欄を全体的に見直し、必要な修正を行っておいた方が良い。</p>	政策推進課長	<p>対応を検討します。</p>

2024/02/27_令和5年度第2回真鶴町総合計画審議会 意見及び回答

No.	事業名・その他	意見内容	回答者	回答
15	塵芥処理事業 ごみ減量化対策事業	令和6年度の取り組み内容方針に追加できないか。 「カラス被害対策」のために、ゴミ容器やネット購入等の案内や斡旋について、町民に呼びかける。以前にもしていることと思いますが、継続していくことが大切なのではと考えています。	税務町民課長	ごみ集積場所につきましては、自治会もしくは集積場所にごみを出している方により日頃、清掃、管理をしていただいております。カラス被害対策の相談がありましたら、ネット等の案内、紹介を継続して行っております。
16	岩ガキ生産、販売事業	令和6年度の取り組み内容の中の「出荷予定数40000円」とあるが、「個」ではないのか？	産業観光課長	申し訳ございません。「個」の間違いです。
17	石材振興事業	令和6年度取り組み内容の中に「新しいパンフレットの作成」とありますので提案です。 小松石については、町外のあちこちで使われていますが、ぜひそれらを調査しパンフレットに掲載していくのはどうでしょうか。 (例えば、東京文京区にある根津神社の手水鉢は、真鶴産の本小松石であることが、きちんと掲示板に書かれています)	産業観光課長	パンフレットは、令和5年度に神奈川県石材協同組合が町からの補助を受け作成しました。江戸城石垣をはじめ、鶴岡八幡宮参道階段、靖国神社狛犬等に使用されていることを紹介しています。
18	教育振興事業	令和6年度から、まなづる小学校がコミュニティスクールとしてスタートしますが、これは教育委員会関係の取り組みとして、どこかにあげるべきでは？	教育課長	コミュニティスクール(学校運営協議会)は、当該学校の運営及び当該運営に必要な支援に関して協議する機関として置くものであり、今後、小中一貫教育校の設置を目指す真鶴町のモデルケースとして令和6年5月よりまなづる小学校に設置し、スタートさせます。町の総合計画は、予算の大事業ごとに作成しますので、令和6年度は、9款教育費、1目教育総務費、3項教育振興費、0010教育振興事業に位置付けております。学校建設準備委員会、学校運営協議会等の取り組みについては、ここで、実績等を記載し評価を受けることとなります。
19	美術館運営事業	中川美術館は、オープンして数十年が経過していると思いますので、中川氏以外の作品を展示し集客に繋げるために、関係者と話し合ってみることはできないのでしょうか。	教育課長	美術館建設時に中川一政氏と交わした覚書内に【「中川一政美術館」には画伯の許諾なしに画伯の作品等以外のものを展示しない。】という記述があるため、現在中川一政氏以外の作品を展示することは難しい状態です。覚書の見直しのため、継続して遺族との話し合いを行っています。
20	民俗資料館運営事業	現在の土日祭の開館以外にも、平日開館日を設けることはできないか。 SNSで「土日が休めない仕事なので、なかなか行けなかった。ようやく行ってきたがかなり興味深い内容であった」ということがUPされていました。 管理者への報酬等、予算の問題もあるかと思いますが、ボランティアを募集するとか、何かしらの方法は考えられるかと思っています。	教育課長	土日祝日のみの開館については、平日の来館者数などを考えて、開館日を減らした経緯があります。平日の開館については、お客様の声なども注視しながら、開館方法を検討していきます。
21	介護予防事業	新しい学校建設計画の中に、フレイル予防への取り組みのための施設等を取り入れることを検討するなど、教育委員会との連携はできないのでしょうか。	健康長寿課長	令和4年度「新たな学校づくり庁内検討委員会」に健康長寿課として課員が参加。高齢者と子どもたちとの融合を図る地域交流スペースを新しい校舎の1階に設置することで、フレイル予防への取組(サロン、介護予防教室等)を要望しています。 新しい学校建設計画の複合施設関係の要検討事項となっています。

2024/02/27_令和5年度第2回真鶴町総合計画審議会 意見及び回答

No.	事業名・その他	意見内容	回答者	回答
22	防災訓練事業	ベテランの職員で防災関係の勉強をし、非常時の際には防災リーダーとして、何でも相談できるようにしたら良いのでは？	町長	要するに何でも相談できる職員については難しいが、一時振り分けをしようと思ひ、例えばお客様今日どうされました、防災保険ですか？ そういう振り分けをするような形で、適切な窓口に繋ぐようなことを考えています。
23	給付金について	湯河原が2023年中に7万円の給付を行ったことと比較すると真鶴は遅い。世帯によっては、借金があつて7万円の給付金が頼みの綱だった可能性もある。そういったことを頭に入れて、給付事業というのは迅速に行っていたほしい。	福祉課長	システム改修を行い国の示したスケジュール内で給付を実施しています。他市町村が取り組んでいない災害時避難要支援者個別計画の取り組み等、給付金だけ特化してではなく、どの事業も大事な仕事と判断して、その中で最速のスケジュールで実施しています。 迅速に給付しないと困る世帯がいるということ、もしかして苦勞した世帯があつたという事実は確かにあるかと思ひますので、ご指摘を受けて反省しています。
24	防災備蓄	能登半島地震を見ていると、避難者、家で過ごす人、車中泊の人もある。それを考えると不足しているのではないか。	総務防災課長	備蓄については、現在の三日分から四日分に増加するように予算を要求しました。予算か出来た分を今年度執行し、不足分については引き続き増額要望していきます。
25	地下水	災害時の水については特に重要であるので、個人所有の井戸を際涯時に使えるように、町が中心となって交渉してもらいたい。	税務町民課長	飲料に適している井戸については、防災のことも考え所有者の方に交渉することを検討しています。
26	避難所運営	真鶴町の場合はペットと一緒に避難する計画は全くないのですか？	総務防災課長	務町民課にて避難所におけるペット等受け入れガイドラインを策定しています。
27	公園について	荒井城址公園の遊具がある場所が、いつも湿っているので、せめて以前あつた木材チップを引いていただければ子どもも遊びやすいのでは。	まちづくり課長	利用形態の変化ということもあり、チップ化は研究していきたいと考えています。
28	公園について	公園で遊んでいる子どもが連れ去られる可能性があるので、監視カメラをつけてもらいたい。加えて夕方の鐘が鳴るまでは、管理人の方が見守ってもらうことはできないか？	まちづくり課長	監視カメラは現在ないので、検討していきたい。管理事務所はシルバー財団に委託しています。6年度予算では今まで通りですが、今後は指摘をうけたことを踏まえて協議していきたいです。
29	鳥獣駆除について	農業関係者が作物をかじられたりして困っている。広域で対応できないか？	産業観光課長	県西地域の鳥獣被害対策協議会という会議があり、対策計画を作っています。
30	総合計画審議会について	資料の誤り（辞めている職員が担当者になっている、誤字が多いなど）が多いので、二重三重にチェックすること。	町長	ミスが減る仕組みを作りたい。
31	総合計画審議会について	資料が渡されるのが直前で、読み込めない。せめて一か月前には貰いたい。その上で、事前に質問事項などをメールなどで送つておいて、会議本番には議論だけしたい。	事務局	審議会の開催について、期間に余裕を持った資料の事前提供、事前の意見聴取の形式を徹底するとともに、効率的な審議会運営についても検討していきます。併せて、会議資料の最適化についても考えていきます。